ほけん だより

長浜市保健センター(健康推進課)

保健センター高月分室(北部健康推進センター)

小堀町32番地3(ながはまウェルセンター1階)

高月町渡岸寺160 (高月支所西側) **☎**85-6420

☎65-7751 (子育て、成人の相談)
☎65-7759 (保健予防事業について) ☎65-7779 (その他)

ノロウイルスによる感染性胃腸炎を予防しましょう

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。(ノロ ウイルス食中毒注意報が発令された場合は、ホームページでお知らせします)ノロウイルスは、手や食べ物を通し て口から入り、腸の中で増え、下痢やおう吐などの症状を起こします。症状がある時は早めに医療機関を受診しま しょう。

○手洗いをしっかりしましょう

石鹸で手指を30秒以上かけて丁寧に手を洗いましょう。手を拭くタオルは共用せず、 ペーパータオルなどを使いましょう。

- ○食品の加熱は、中心部までしっかりと加熱しましょう(85度以上で1分30秒以上)
- ○調理器具は使用後に洗浄・殺菌しましょう
- ○下痢の便やおう吐等の処理は、換気を十分に行い、手袋・マスク着用で行いましょう



生活習慣病健診・国民健康保険特定健診は2月末まで医療機関で受診できます

生活習慣病は痛みなどの症状がないままに発病し、やがて脳梗塞や心臓病、腎臓病など大きな病気を起こします。 日頃体調の変化はないのに、久しぶりに健診を受けると、血圧や血糖値が高くなっていたという人もいます。

生活習慣病健診(30~39歳の人)、国民健康保険特定健診(40~74歳の国民健康保険に加入している人)は、市内医 療機関で2月末まで受診できます。まだ健診を受診していない人は、ぜひ身体の定期点検をしてください。 ※年齢は平成30年3月31日時点

【料 金】1,000円

【持ち物】保険証、国民健康保険特定健診を受診の人のみ特定健康診査受診券

【申込み】電話で受診を希望する医療機関にお申し込みください。

子宮頸がん・乳がん検診を受けましょう

子宮頸がんは、頸部の細胞を採取する検診を受けることで、がんに変化する前の状態で発見することもできます。 乳がんは女性がかかるがんの中で最も多いがんですが、早期に発見することで 9割以上は治ります。

医療機関では、年間を通じて子宮頸がん・乳がん検診を実施していますので、ぜひ受診してください。

子宮頸がん検診

【対象年齢】20歳以上の女性 【検診時期】2年に1回

【申込み】

電話で受診を希望する医療機関に「長浜市が実施 する子宮頸がん検診希望」とお申し込みください。

次のいずれかに該当する人は対象になりません

- ○子宮について治療中の人、経過観察中の人
- ○妊娠中・妊娠している可能性がある人、検診時 に月経中の人
- ○平成28年度に市の子宮頸がん検診を受けた人 (平成29年度のクーポン対象者は除く)

乳がん検診

【対象年齢】40歳以上の女性

【検診時期】2年に1回

【申込み】

電話で下記までお申し込みください。

次のいずれかに該当する人は対象になりません

- ○乳房について治療中の人、経過観察中の人
- ○しこり、乳頭からの分泌物があるなどの自覚症状 がある人(検診でなく病院を受診してください) ※上記のほかにも対象外となる人がいます。申込
- み時に確認します。

問合せ

健康推進課(☎65-7759)

2077 滋賀県琵琶湖政策課 -528-

3

63



コハクチョウ

をご覧くださ これまでの活 ベン

やイ

の観察会や調査研究、

普

及活動などを実

成15年に設立され

崎

内湖

才

▲早崎内湖ビオトープで泳ぐ

性を探 部で試験的に水を張 物の 生息を確認することができました。

在来魚種

など多様

能の

中の締め

の始

ターで過ごしませ

枚セッ

をプ

鳥センタ

湖北

の野

鳥絵は

がき

を記念

セン

末年始も左記

0)

内湖はび ため県では 湖固 [有の 拓や埋 ttの低下などの影響が や埋め立てなどで次々 の動植物にとって重要 生の可能 地

 Ξ き

1 1 12 12 月 月 月 月 3 29 日 (火) 生 金

う早崎内湖をめざ

ħ

口

ロウブ ク

などの

多く

 \dot{O}

野鳥が

成29年度から本 の在来魚で賑わ

(開館時間)

(☆79-1289) 湖北野鳥センター

早崎内湖を再生して

い

ます

年末年始の特別開

館

環境保全課(☎65

·6513)

緊急事態!住宅火災による死者が急増しています

火気の取扱いに注意を

湖北地域管内において、昨年の10月からの 約1年間に、住宅火災で11人もの尊い命が奪 われています。原因は、石油ストーブ、電気 ストーブ等の付近に、衣類などの燃えやすい ものが置いてあり、引火することが多く、亡 くなった人の大半が高齢者です。

火災の早期発見・ 早期避難のために、 住宅用火災警報器の 設置が義務付けられ ています。

冬は暖房器具の使 用が増え、空気が乾 燥し火災が起こりや すくなります。火気 の取扱いには十分気 をつけてください。



消防職員が皆さんのお宅にお伺いします

湖北地域消防本部では、高齢者 世帯を中心に火災予防の啓発を行 い、火災による死傷事故の発生を 防ぐために「住宅防火訪問」を実 施します。皆さんのご協力をお願 いします。

※消防職員は制服・制帽・腕章を つけています。

訪問時お話しする内容

- ○家庭における火気取扱いの注意点
- ○住宅用火災警報器に関すること
- ○放火されない環境づくりに関すること
- ○その他、住宅防火に関すること
- ※消防職員が、住宅用火災警報器、消火器等の 斡旋、販売をすることは一切ありません。

問合せ

湖北地域消防本部予防課(☎62-5194)

7 広報ながはま 2017年12月15日 広報ながはま 2017年12月15日 6